

実践報告

用件	第84回 神奈川掃除に学ぶ会	日時	2020年2月9日 8:00-11:50
場所	小田原市立鴨宮中学校	記入	2020年2月18日 菅原伸吾
参加	153人(内、生徒65、教職員21、小田原ボーイズ(中学1年)21)		

掃除会場へ向かう途中、車中から雪化粧した富士山がくつきりと見ええました。空気は澄み、天気に恵まれました。鴨宮中学校に着くと校庭からも富士山が見えました。羨ましい景色です。



今大会には部活動をしている生徒、先生方、校長、教頭先生も参加されました。小田原市の中学校での掃除大会は今年で三年目。過去二年は城北中、千代中で開催されました。開会式、閉会式で生徒達は私語をすることなく、静かに聞いていました。掃除中は元気で、よく学び、健全に成長している様子が伺えました。

掃除が始まり、素手での便器磨きを実演して見せると生徒たちは絶句。女子生徒からは「キヤー」という悲鳴。遠くから眺めていました。生徒たちにやらせると最初はなかなか汚れに手が向かいませんでした。決心してからはきれいになるまで磨いてくれました。

感想発表

- 学校でも掃除をしますが、普段しない他のクラスや違う学年の人と掃除をして、触れ合うことができて楽しかった。(生徒)
- 普段生徒とトイレ掃除をする時は「汚いと

ころは触りたくない」と、棒の付いた掃除道具を使います。水が跳ねたら「わあ」と逃げます。今日は素手で、何十回も何百回も便器を磨き、雑巾で床を拭き、いつもやらないことをやりました。

一生懸命やつてきれいになるとすごく嬉しいなという事が分かりました。最後に便器に感謝の言葉を言いました。すごく変だなと思いましたが、確かにいろんなことから学ぶ事ができるので、何でも先生なんだなということに気づくことができました。(教師)

子どもたちの様子を見てみると、最初はやはり皆「触りたくない」と嫌がっていました。しかし掃除をしていくうちに、手で汚れを確認しながら積極的に掃除を楽しんでいました。僕自身も和式便器を磨き、すごくきれいになって楽しくできました。自分が掃除したトイレだけではなく、他の場所の公衆トイレなどでも誰かが掃除してくれているということ、日頃から感謝したいと思いました。(教師)



最初は嫌だと思っていたけど、やつていくうちに愛着がわくようになってきて、終わった後にはトイレも心もきれいになり、とてもいい体験ができました。(生徒)

最初はトイレ掃除はしたくないなと思っていたけど、きれいになっていくトイレを見て、もつとやりたいなと思うようになりました。最終的に分かったことは、トイレ掃除は運動と同じで全身を使った方がよいということ。将来、僕が結婚してパパになったら、結婚したママや生まれた子供に(会場笑)、トイレ掃除を教えてあげたいと思います。(生徒)

今年で三年目の参加で、毎年一年生全員で参加しています。トイレ清掃に真摯に取り組む姿勢が、野球に生きてくるんじゃないかと思っています。(野球チーム引率)

目に見えてだんだんときれいになっていく様子や、触ってみて汚れが取れていくのを感じて、楽しいなと思いました。道具の使い方や洗い方を一つ一つ丁寧に教えて頂いて、今後に活かせると思いました。掃除は健康とも大きな繋がりがあがると思います。(教師)



閉会式

【田中修校長先生ご挨拶】 本日は日本を美しくする会、神奈川掃除に学ぶ会の皆様のおかげでこのように素晴らしい会を開くことができましたありがとうございます。私も北校舎の一階男子トイレを掃除しました。女の子も班におり、普段なかなか男子トイレに入る機会がありませんので、「キヤー」とか言いながら始まりました。そこから、ちよつとやったらアンモニア臭が立ち込めてたいへんな騒ぎになりました。臭いわ、汚いわということでしたが、最後は便器の奥までのぞき込んで手で触り、より一層きれいになりたいという気持ちに変わって、たった1時間か2時間くらいで人がこんなに変わるものなんだと感じました。

お家に帰ったら今日こんなことしたよと話してみてください。明日は学校があります。今日来ていない友達に、実は昨日こんなことをやったんだよと広めてみてください。たぶん友達は「えー」と言うと思います。が、そこからスタートするんじゃないかと思えます。実際にやった人にしか分からない事だと思えました。私もここまでトイレ掃除をやったのは初めてです。今日家に帰って話をします。そしたら「掃除やれ」と言われると思います(会場笑)。ともかく、貴重な体験をさせて頂き、これからいろんなところで今日学んだことを糧にして頑張りたいと思います。御協力頂きました皆様に深く感謝申し上げます。



【講評】「日本を美しくする会 千種敏夫 専務理事」

今日は天候にも恵まれましたが、私も1班で掃除をさせて頂いて、この1班で掃除をさせて頂いたことに恵まれたと感じました。今日ほど楽しく掃除ができたことはありませんでした。

掃除する男子トイレに行くとき臭いがあったんですね。徹底した磨きでいいと思います。ところが小便器の蓋を開けて中にちよつと指を入れてピュッとやるとものすごい臭気が上がった瞬間、生徒さんたちのけ反って「キヤーキヤー」凄かったです。しかし、そんな臭いに逆に奮起して「やろう、やりたい」と女子生徒さんが手を便器に突っ込んでくれました。そんな中、本当に素晴らしいと思った事は、田中

校長先生をはじめ、参加された先生方です。生徒の前では命令する先生が多いですよ。そうではなくて、逆に生徒さんたちに追われるように掃除をされました。生徒さんにとってこれはものすごい宝です。大人が率先して行っているのを見て、生徒さんはいろんなことを覚えていくんだと思います。

世の中には理論屈ばかり言う人が、テレビにもたくさん出ていますよね。じゃあ、あなたは何をしたんですか?何もしていませんよ。言っているだけは何も変わりません。先を行き一緒に動いてくれる大人がいてくれたら、生徒さんはそれについて行けばいいんです。実践ほどの真実はありません。

それともう一点、校長先生、来年もまたやりたいという話が生徒さんたちから出ました。中鉢さん、来年も。私たちにとってはこんなに有難いことはありません。是非実現できるように願っております。

【御礼の言葉】「神奈川掃除に学ぶ会 中鉢悟 代表世話人」

ご準備、ご協力頂きました教職員の皆様、田中校長先生、そして小田原市倫理法人会の皆様のご理解とご支援に心から感謝致します。今日素手で便器を磨くと聞いて「嫌だな」「やりたくない」と思ったと思います。しかし一生懸命取り組んでいるうちに嫌でなくなった人も大勢いると思います。これから勉強や部活、仕事などで「面倒だな、やりたくない」と思った時、今日の掃除を思い出してくれたら勇気が湧いてくると思います。親から頂いた大切な人生を幸せなものにするのは楽ではありません。でも嫌な事、面倒な事に取り組み続けていると、神様からご褒美が頂けて幸せな人生を作る基礎になると思います。

昨年のラグビーワールドカップでは試合会場となった新横浜や周辺地域で街頭清掃が行われました。いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピックの年です。世界中から日本に、そしてここ神奈川県にも大勢の人が集まります。きれいな日本を是非見て頂いて、世界中にアピールしたいと思えます。そして日本から世界に平和を発信していきたいと考えています。

日本を美しくする会の利会長が鍵山相談役からこんな言葉を頂きました。「掃除で家庭や会社、学校、地域、国を良くして下さい。掃除でしか環境を変える事はできません。できれば先生と呼ばれている偉い方々が掃除をすることです」。この思いに立ち帰り、世界に誇れる日本を目指してこれからも活動をしていきます。田中校長先生、また来年もやりたいという嬉しい言葉を頂きました。神奈川掃除に学ぶ会ではいつでも協力できる態勢でお待ちしております。